

KOGAKUIN RACING TEAM

月間活動報告書

2026 May



KRT

KOGAKUIN RACING TEAM

CONTENTS

- ・チームリーダー/

テクニカルディレクター挨拶

- ・5月の日程/6月の予定

- ・各セクションの活動報告

- ・スポンサー様一覧

- ・連絡先



KOGAKUIN RACING TEAM



チームリーダー挨拶

チームリーダー 石井伶奈



初夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より私たち学生フォーミュラプロジェクトに対し、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月7日に無事コスト審査資料の提出を完了いたしました。その後の確認においてペナルティが0であることが判明し、チーム一同安堵しております。6月には2回の試走を計画しており、6月20・21日に予定されている試走には新入生も参加する予定です。

現在、新入生はアライメント調整や車両製作へ積極的に参加しており、工房での実践を通じて着実に成長しております。共に車両づくりを進め、チームとしてさらなる成長を遂げる所存です。

今後も大会本番に向けて全力で取り組み、皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

テクニカルディレクター挨拶

テクニカルディレクター 松本悠暉



初夏の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月は、大会本番を見据えた準備を本格化させる重要な月となりました。ゴールデンウィーク期間中の5月4日および5日には、JARIにて周回走行の試走を実施いたしました。車両の周回セットアップの検証に加え、今年度もドライバーの習熟度向上にも重点を置き、実践的な走行練習を重ねております。走行データの収集と課題抽出を並行して行い、車両・ドライバー双方の確実なレベルアップを図ることができました。

また、静的審査関連の提出物につきましても、すべて期限内に提出を完了いたしました。



各担当者が昨年度の反省点を踏まえて徹底的な内容の見直しを進めた結果、書類の完成度は大きく向上しており、チームとして自信を持って大会に臨める内容に仕上がったと実感しております。

さらに、大会車検を想定したチーム内車検も実施いたしました。細かな不備や改善点を早期に洗い出すことで、本番に向けた車両のさらなる完成度向上に努めております。

6月以降は周回走行を中心とした評価・セッティング活動が主体となり、いよいよ大会が目前に迫ってまいります。チームメンバー一人ひとりが大会に向けた緊張感と責任感を持ち、これまで以上に真剣に活動に取り組んでおります。限られた期間の中で車両の完成度を極限まで高め、目標達成に向けて全力で開発を進めてまいります。

今後とも、工学院レーシングチームへの変わらぬご支援、ご声援を賜りますようお願い申し上げます。



5月の日程、6月の予定

2026年5月

	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日
パワトレ	コスト	冷却漏れ修正	試走準備	JARI試走		コスト	
足周り	コスト・組付け	アライメント	試走準備	JARI試走		コスト	
シャシ	コスト・組付け		試走準備	JARI試走		コスト	
エアロ	コスト・組付け		試走準備	JARI試走		コスト	

	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日
パワトレ		デザイン			新入生勉強会	デザイン	
足周り		フレーム実測		デザイン	新入生勉強会	デザイン	
シャシ		フレーム実測		デザイン	新入生勉強会	デザイン	
エアロ		デザイン			新入生勉強会	デザイン	

	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日
パワトレ		車検適合			新入生勉強会	車検適合	
足周り		車検適合・予備パーツ製作			新入生勉強会	車検適合	
シャシ		車検適合・予備パーツ製作			新入生勉強会	車検適合	
エアロ		車検適合・予備パーツ製作			新入生勉強会	車検適合	

	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日
パワトレ	チーム内車検	車検適合	模擬車検		予備パーツ製作		
足周り	チーム内車検	車検適合	模擬車検		予備パーツ製作		
シャシ	チーム内車検	車検適合	模擬車検		予備パーツ製作		
エアロ	チーム内車検	車検適合	模擬車検		予備パーツ製作		

	5月29日	5月30日	5月31日
パワトレ	予備パーツ製作		Honda基礎講座
足周り	予備パーツ製作		Honda基礎講座
シャシ	予備パーツ製作		Honda基礎講座
エアロ	予備パーツ製作		Honda基礎講座

2026年6月

	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日
パワトレ	オイルパン組付け		オイル・水入れ		試走準備		NATS試走
足周り		破損パーツ再製作			試走準備		NATS試走
シャシ		組付け			試走準備		NATS試走
エアロ		アンパネ製作			試走準備		NATS試走

	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日
パワトレ	車両バラシ		エキマニ加工			CAD講習	
足周り	車両バラシ		交換用A-arm製作			CAD講習	
シャシ	車両バラシ		予備パーツ製作			CAD講習	
エアロ	車両バラシ		アンパネ製作			CAD講習	

	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日
パワトレ		冷却見直し		試走準備		もてぎ試走	
足周り		交換用A-arm製作		試走準備		もてぎ試走	
シャシ		予備パーツ製作		試走準備		もてぎ試走	
エアロ		アンパネ製作		試走準備		もてぎ試走	

	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日
パワトレ			エキマニ塗装&6Lタンク製作				
足周り			予備カラー類製作				
シャシ			予備パーツ製作				
エアロ			カウル・ステー製作				

	6月29日	6月30日
パワトレ	エキマニ搭載	
足周り	予備カラー類製作	
シャシ	予備パーツ製作	
エアロ	カウル・ステー製作	





各セクションの活動報告

パワートレイン班

パワートレイン班リーダー 先進工学部機械理工学科 3年 朝日大介



5月は、静的審査の提出期限が集中していたため、審査書類の作成を優先して進めました。また、新入生に向けた班の紹介や教育活動も並行して実施しております。

今年度のコスト審査およびデザイン審査についてご報告いたします。コスト審査においては、例年より早期に着手できたことで、得点に直結する「プロセス」の項目を昨年度から大きく改善でき、資料の精度を向上させることができました。また、デザイン審査の資料につきましても、今年目標である「実測重視」の方針に沿って記述しております。資料提出だけでなく、大会中にも当日審査を控えており、検証に必要な実測を今後も着実に進めてまいります。

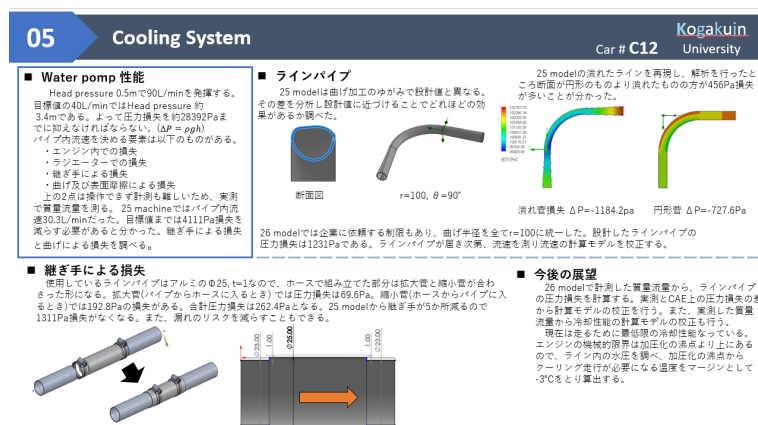


Fig.1 デザイン審査資料の一部抜粋

一方で、パワートレイン班は人員不足により一人当たりの作業負荷が増大し、一部の項目においては想定していた完成度まで到達できないという課題も浮き彫りとなりました。この原因は、これまでの引き継ぎ体制や、班員の業務配分に対する見通しに甘さがあった点にあると分析しております。



この反省を踏まえ、今年度は新入生に対する教育体制と引き継ぎの強化を図る所存です。具体的には、班の紹介イベント等を通じて上級生と会話しやすい環境を構築し、チーム内の縦のつながりを深めることで、より強固な組織基盤を築いてまいります。



Fig.2 班紹介資料の一部抜粋

6月には、冷却機構の実測にとどまらず、さらなる性能向上に向けた各種試験を実施していく予定です。引き続き、ご指導・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



足回り班

足回り班リーダー 工学部機械工学科 3 年 高橋真育



・コスト

足回り班として、コストは良点もありましたが課題の残る点もありました。良点としてはコストの進捗状況を足回り班全体で毎週一人ひとり確認したため全員で共有ができたことです。これにより、進捗が良くない場合に互いに助け合うことができました。結果的に足回り班全体でのコストの提出期限を遵守できたことは高く評価できます。しかし課題も挙げられます。BOM の追記が多く、一度完成していたものを修正するロスタイムと労力を発生させてしまいました。この原因として一人に BOM 作成を任せていたことによる間違いの発見の遅れがあげられます。作成した FCA や図面は共同確認などを行なっていたため、修正点を発見できたものの、静的審査における減点リスクが残るため、来年度以降の BOM が完成次第、複数人の添削によって BOM の正確性を上げてまいります。

・デザイン

デザイン資料では、これまで足回り班が取り組んできた内容を整理し、得られたデータをどのように活用してきたかを改めて見直すことができました。今年度は「データ取得」を主な目標としていたため、大きな仕様変更は行わず、車両評価を中心に進めてきました。

その結果、多くの車両データを収集することができ、これらを整理してデザイン資料にまとめる作業は大変でしたが、実測に基づく確かな根拠を示すことができたため、説得力の高い資料に仕上げることができました。

・JARI 試走

5 月には日本自動車研究所 城里テストセンターでの試走会に参加しました。1 日目はスキッドパッドにて POU のセッティングを 2 種類比較し、マシンバランスの評価を行いました。主なチューニングデバイスとしてスタビライザーを調整し、どのようにバランスが変化するかを確認しました。まだ十分に詰め切れていないデバイスもあるため、今後の試走会でさらに最適なセッティングを探っていきます。

2 日目は今期初の周回走行を実施し、ドライバー練習とタイム計測を行いました。最終走行では、2 日間でのベストとなる 68.7 秒を記録しました。これまで地道に積み重ねてきた





足回りのセッティングが、確かな成果として現れたと感じています。

最後に、試走会の場所をご提供いただいた日本自動車研究所 城里テストセンター様、ならびに試走会を運営してくださった FM 関東様に深く感謝申し上げます。



Fig.3 スキッドパッドを用いたセッティングの様子

車検

足回り班の車検項目数は多くありませんが、アームや締結箇所が多いため、CRITICAL FASTENER 要件を確実に満たすことが重要です。その要件を満たせず再車検にならないためにも、締結点を複数人でのチェックをおこない見落としを防ぎます。また OB の方々に車検での注意点を教えていただき、万全の準備を進めてまいります。



シャシ班

シャシ班リーダー 工学部機械工学科 3年 結解和宏



今月は静的資料の作成とデザイン審査に向けた今年度車両の実測、チーム内車検を行いました。

・フレーム

5月8日～10日で株式会社共和電業様ご協力のもと、フレーム実測を行いました。フレーム実測では、輪荷重測定とフレームのひずみおよび変位量の計測を行いました。

パイプのひずみ計測では、レギュレーション外のパイプとプッシュロッドの荷重ごとのひずみ量を計測しました。

変位計測では、車両に「ターゲット」と呼ばれる白黒のプレートを貼り付けて、xy方向への変位量を9か所で測定しました。これらのデータを静的資料の作成で活用することが出来ました。今後、得られたデータを元にフレームの評価、設計を行なっていきます。また、現メンバーにとって、ひずみゲージを使用したフレーム実測を行うのは今回が初の試みでした。その為、計測がきちんとできるか不安でしたが、無事にデータが取ることが出来ました。

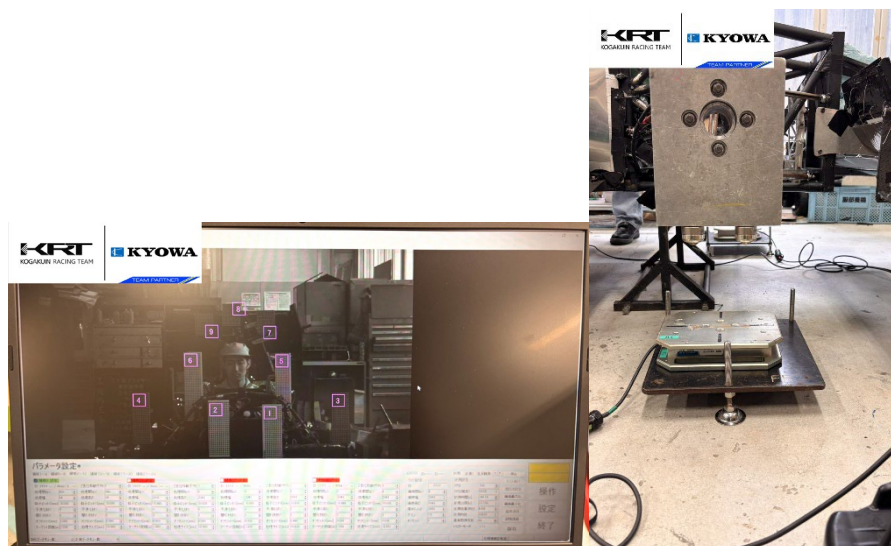


Fig.4 変位計測時の写真(左) 株式会社共和電業様よりお借りした測定器 (右)



・ペダル

かかと置きの製作が完了し、5月4日、5日で参加したJARI様での試走会で搭載することができました。試走会途中で、アルミ板が曲がってしまい、ドライバーからのフィードバックより再製作を行いました。また、再製作したものを6月の試走までに製作する予定です。

大会に向けてドライバーフィードバックを貰い、完成度を高めていきます。

・車検

5月末にはチーム内車検をおこないました。そこでは、現2年生への引継ぎも兼ねて、車検項目を丁寧に確認しました。エビデンス不足、再製作の必要なもの、修正が必要なものの確認ができたので、早急に製作、エビデンスの作成を行い、大会では1回での合格を目指して今後活動してまいります。





エアロ班

エアロ班リーダー 工学部機械システム工学科 3年 菊地祐汰



今月は、学生フォーミュラ大会の静的審査項目の一つであるデザイン審査の事前提出期限が中旬にあったため、その準備に多くの時間を費やしました。

静的審査は弊チームの課題の一つとされていましたが、今年はスポンサーの皆様から早い段階でご支援をいただくことができました。そのおかげで、先月の報告書でもお伝えしたとおり、様々な試験や評価を実施することができ、昨年以上に充実した内容のデザインレポートを作成することができました。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

月の後半は、車両完成度のさらなる向上を目指し、製品の仕上げ作業や追加パーツの製作を進めました。また、試走会中にパーツが破損するアクシデントも発生しましたが、昨年より余裕を持ったスケジュールで製作を進めていたこともあり、大きな影響なく対応することができました。

こうした余裕を持った開発体制を構築できたことについても、スポンサーの皆様のご支援によるところが大きく、深く感謝しております。また、急なお願いにも迅速にご対応いただいたアナテック株式会社様にも、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



Fig.5 走行の様子



Tools by Sanjo Niigata



工学院大学校友会 工学院大学機械系同窓会 工学院大学学生フォーミュラ OB 会

工学院大学 自動制御研究室



連絡先

工学院大学 学生フォーミュラプロジェクト

工学院レーシングチーム (KRT)

顧問

工学部 機械工学科

自動車音響振動研究室 山本崇史 教授

メールアドレス : takashi_yamamoto@cc.kogakuin.ac.jp

2026 年度チームリーダー

工学院大学 先進工学部 環境化学科 3 年 石井伶奈

メールアドレス : s324006@ns.kogakuin.ac.jp

住所 : 〒192-0015

東京都八王子市中野町 2665-1 工学院大学八王子キャンパス 17 号館 1 階夢づくり工房

WEB page: <https://www.ns.kogakuin.ac.jp/www1032/>

Facebook: <https://www.facebook.com/KogakuinRacingTeam>

Twitter: <http://twitter.com/kogakuinrace>

Instagram: https://www.instagram.com/krt_fsae/

